

① 造林方法が人工造林の場合

伐採及び伐採後の造林に係る森林の状況報告書

令和2年5月31日

山県市長 殿

伐採した森林が所在する市町村の長とする。

住所 ○○市△△町1-2-4

提出日は、造林の期間の末日から30日以内です。

報告者 氏名 森林 花子

令和元年10月1日に提出した伐採及び伐採後の造林の届出書に係る森林につき次のとおり伐採及び伐採後の造林を実施したので、森林法第10条の8第2項の規定により報告します。

1 森林の所在場所

山県市 大字 ○○ 字 △△ 1234-1 番地、1234-2 番地

①造林（伐採）箇所ごとに報告書を作成する。  
②複数地番にまたがる場合は、該当する全ての地番を記載する。

届出書の「伐採の計画」に従ったものとする。

2 伐採の実施状況

伐採面積	2.00 ha	全ての地番の合計面積を記載する。 ※小数第2位まで記載（第3位で四捨五入）		
伐採方法	皆伐・択伐	伐採率	100%	伐採率は、立木材積による伐採率（%）とする。
伐採樹種	スギ			
伐採の期間	平成元年12月15日～令和2年2月15日			届出書に記載した期間に収める。

3 伐採後の造林の実施状況

	造林の方法	造林の期間	造林樹種	樹種別の造林面積	樹種別の造林本数
人工造林	植栽	令和2年4月1日～	スギ	1.00ha	2,000本
		令和2年5月10日	ヒノキ	1.00ha	2,000本
天然更新				ha	本

届出書の「伐採後の造林の計画」に従ったものとする。

複数の樹種を造林した場合は、樹種ごとに記載する。

4 備考

令和2年3月1日に森林太郎から相続（共有者：森林次郎ほか2名）

注意事項

- 報告に係る森林の所在する市町村ごとに提出すること。
- 森林の所在場所ごとに記載すること。
- 面積は、小数第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。
- 樹種は、すぎ、ひのき、まつ（あかまつ及びくるまつをいう。）、からまつ、えぞまつ、とどまつその他の針葉樹及びぶな、くぬぎその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 伐採方法欄には、皆伐又は択伐の別を記載し、伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。
- 造林の方法欄には、人工造林による場合には植栽又は人工播種の別を、天然更新による場合にはぼう芽更新又は天然下種更新の別を記載すること。
- 人工造林による場合において、複数の樹種を造林したときは、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の造林本数欄には、造林した樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 天然更新による場合においては、造林樹種欄には代表的な樹種を、樹種別の造林面積欄には天然更新に係る区域全体の面積を記載すること。また、更新調査の結果又は造林地の写真その他の更新状況を明らかにする資料を添付する場合には、樹種別の造林本数欄には、「別添のとおり」と記載することができる。

①伐採後の用途が森林以外（転用）である場合、その用途及び時期を記載する。  
②相続等により届出書とは異なる森林所有者が提出する場合、当該相続等に係る情報を記載する。

## ② 造林方法が天然更新の場合

### 伐採及び伐採後の造林に係る森林の状況報告書

令和6年7月15日

山県市長 殿  
伐採した森林が所在する市町村の長とする。

伐採をした者と伐採後の造林をした者が異なる場合は、連名で報告する（ただし、造林をした者の記載があれば足りる。）。

複数地番にまたがる場合は、該当する全ての地番を記載する。

住所 ○○市△△町1-2-4  
報告者 氏名 ○○林業  
代表取締役 森野 次郎  
住所 ○○市△△町1-2-4  
報告者 氏名 森林 太郎

提出日は、造林の期間の末日から30日以内です。

伐採をした者（立木を買い受けて伐採した者等）

伐採後の造林をした者（森林所有者）

令和元年10月1日に提出した伐採及び伐採後の造林の届出書に係る森林につき次のとおり伐採及び伐採後の造林を実施したので、森林法第10条の8第2項の規定により報告します。

#### 1 森林の所在場所

山県市 大字 ○○ 字 △△ 1234-1番地、1234-2番地

#### 2 伐採の実施状況

伐採面積	3.30 ha	全ての地番の合計面積を記載する。 ※小数第2位まで記載（第3位で四捨五入）
伐採方法	皆伐・択伐	伐採率 100%
伐採樹種	クヌギ、その他広葉樹	伐採率は、立木材積による伐採率（%）とする。
伐採の期間	令和元年11月10日～令和元年12月20日	届出書に記載した期間に収める。

#### 3 伐採後の造林の実施状況

届出書の「伐採後の造林の計画」に従ったものとする。	造林の方法	造林の期間	造林樹種	樹種別の造林面積	樹種別の造林本数	複数の樹種を造林した場合は、樹種ごとに記載する。
人工造林						
天然更新	ぼう芽更新、天然下種更新	令和元年12月21日～	クヌギ	2.20ha	7,000本	
		令和6年6月30日	その他広葉樹	1.10ha	写真、更新状況資料を添付	

#### 4 備考

#### 注意事項

- 報告に係る森林の所在する市町村ごとに提出すること。
- 森林の所在場所ごとに記載すること。
- 面積は、小数第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。
- 樹種は、すぎ、ひのき、まつ（あかまつ及びくろまつをいう。）、からまつ、えぞまつ、とどまつその他の針葉樹及びぶな、くぬぎその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 伐採方法欄には、皆伐又は択伐の別を記載し、伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。
- 造林の方法欄には、人工造林による場合には植栽又は人工播種の別を、天然更新による場合にはぼう芽更新又は天然下種更新の別を記載すること。
- 人工造林による場合において、複数の樹種を造林したときは、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の造林本数欄には、造林した樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 天然更新による場合においては、造林樹種欄には代表的な樹種を、樹種別の造林面積欄には天然更新に係る区域全体の面積を記載すること。また、更新調査の結果又は造林地の写真その他の更新状況を明らかにする資料を添付する場合には、樹種別の造林本数欄には、「別添のとおり」と記載することができる。

③ 伐採後に森林以外の用途に供されることとなる場合

伐採及び伐採後の造林に係る森林の状況報告書

令和2年4月20日

山県市長 殿

住所 ○○市△△町1-2-3

提出日は、伐採の期間の末日から30日以内です。

伐採した森林が所在する市町村の長とする。

報告者 氏名 森林 次郎

令和元年10月1日に提出した伐採及び伐採後の造林の届出書に係る森林につき次のとおり伐採及び伐採後の造林を実施したので、森林法第10条の8第2項の規定により報告します。

1 森林の所在場所

山県市 大字 ○○ 字 △△ 1234-1 番地、1234-2 番地

複数地番にまたがる場合は、該当する全ての地番を記載する。

2 伐採の実施状況

伐採面積	0.50 ha		
伐採方法	皆伐・択伐	伐採率	100%
伐採樹種	ヒノキ		
伐採の期間	令和元年12月12日～令和2年3月30日		

伐採面積は1ha以下とする。  
※小数第2位まで記載（第3位で四捨五入）

伐採率は、立木材積による伐採率（%）とする。

3 伐採後の造林の実施状況

	造林の方法	造林の期間	造林の樹種	樹種別の造林面積	樹種別の造林本数
人工造林	—	—	—	—	—
天然更新	—	—	—	—	—

伐採後に森林以外の用途に供されることとなるため、造林の実施状況の記載は不要。

4 備考

伐採後に宅地造成を予定（転用予定時期：令和2年8月）

注意事項

伐採後の用途が森林以外（転用）である場合、その用途及び時期を記載する。

- 報告に係る森林の所在する市町村ごとに提出すること。
- 森林の所在場所ごとに記載すること。
- 面積は、小数第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。
- 樹種は、すぎ、ひのき、まつ（あかまつ及びくろまつをいう。）、からまつ、えぞまつ、とどまつその他の針葉樹及びぶな、くぬぎその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 伐採方法欄には、皆伐又は択伐の別を記載し、伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。
- 造林の方法欄には、人工造林による場合には植栽又は人工播種の別を、天然更新による場合にはぼう芽更新又は天然下種更新の別を記載すること。
- 人工造林による場合において、複数の樹種を造林したときは、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の造林本数欄には、造林した樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 天然更新による場合においては、造林樹種欄には代表的な樹種を、樹種別の造林面積欄には天然更新に係る区域全体の面積を記載すること。また、更新調査の結果又は造林地の写真その他の更新状況を明らかにする資料を添付する場合には、樹種別の造林本数欄には、「別添のとおり」と記載することができる。